

## 夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

## 2019年春の交流会

【実施期間】 2019年3月17日(日)

【開催地】 仙台市：太白区中央市民センター、生涯学習支援センター

【参加内訳】 小学生14名、中学生8名、高校生3名、大学生スタッフ・OB/OG(社会人を含む)26名、社会人スタッフ2名

【活動概要】

夢のつばさプロジェクトの春の交流会は今回で7回目の開催となりました。冬キャンプから早3か月経ち、子どもたちが新学期を迎える時期になっています。特に今回は小6と中3の小学校・中学校を卒業する子どもたちが多く、新しい環境に期待と不安が半ばしているのではないかと思います。そこで春の交流会では、「子どもたちが交流会でいつもの仲間と遊んで安心感を得て、新学期、新しい環境を迎えて頑張ろうと感じられるようにすること」を念頭に置いて企画しました。

午前中は「名前ビンゴ」というゲームを行いました。配られた紙の5×5のマスにお互い名前を書き合います。25マス埋めるため、子どもたちは学年や性別関係なく「書いて!」と声を掛け合っていました。その後呼ばれた名前をチェックし、誰が早くビンゴになるかを競いました。ビンゴの景品として、大学生が描いた特製ポストカードが渡され、子どもたちにも大好評でした。

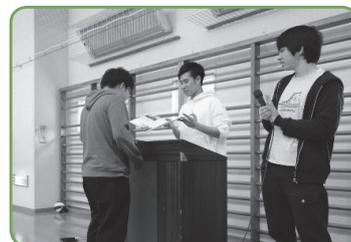
昼食後は、中央市民センター内の創作室にて手紙を書く企画を行いました。1年後の自分に向けて「〇〇に挑戦する!」といった手紙を書いて、充実した1年を過ごすことを目指



したものです。こうした機会に子どもたちの日常の話聞くことができたのもとても嬉しいことでした。手紙を開けるのは2020年春の交流会を予

定しています。時々思い出して励みにしてくれるといいなあと思っています。そのあと、体育館へ移動して、たっぷり自由時間を楽しみました。バレーボールをしたり、バスケットボールのパス回しをしたり、鬼ごっこでかけまわったり、隅に輪になって座っておしゃべりしたり、囲碁をする子もありました。最後に小中学校の卒業を祝う表彰式を行いました。大学生が作った記念のアルバムと色紙を渡されて、笑顔になる子、照れくさそうにする子、みな拍手されて嬉しそうでした。

子どもたちが企画を行っている間に、保護者の方とスタッフは保護者懇談会を行いました。今回は、保護者の方4名、社会人スタッフ2名、OB



社会人1名、学生スタッフ2名の計9名が参加し、学生スタッフから冬キャンプや秋から開始した高校受験対象のインターネットを使った学習支援についてご報告し、保護者の方からはご家庭での子どもたちの様子についてお話しいただきました。中3の子どもの保護者の方も参加され、受験という一つのステップを終えて、子どもの成長の喜びや、夢のつばさの活動への感謝と信頼を語られ、学生たちはそれぞれの保護者の方のご苦労や子どもへの想いを感じ入った様子でした。今回の活動統括の学生は「私たちがこの活動を通して子どもたちと関わり続けることができているのは、夢のつばさへ子どもたちを送りだして下さる保護者の方々の存在があるからです。私たちは、私たちにできることをとにかく精一杯やっいていこう、と改めて考えさせられました。」と感想を述べています。一同、心を寄せ続けていきたいと思ひます。

最後に、夢のつばさの活動を温かく見守り支援してくださっている皆様に、改めて御礼申し上げます。今後もどうぞよろしくお願いいたします。

(夢のつばさ♥プロジェクト)

ご寄付のお願い

【口座】 三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通1284200

【名称】 特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※ 夢のつばさ♥プロジェクトの専用口座です。

ご寄付いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

※ 恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

連絡先: 事務担当 滝澤公子 TEL&FAX: 03-5978-5362 E-mail: tsubasa@npo-ochanomizu.org